

一 研究開発統括責任者及び業務管理責任者研究経歴書の記入について 一

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

共同提案の場合には、業務管理統括責任者について、業務管理統括責任者研究経歴書（様式1）に記入し、提出してください。

提案事業者をはじめ、再委託研究機関等本提案事業に係る業務管理責任者の研究経歴を業務管理責任者研究経歴書（様式2）に記入し、提出してください。

業務管理統括責任者とは、本事業に係る共同提案の代表業務管理責任者を指し、業務管理責任者とは各提案者または再委託先等の本事業に係る業務の責任者を指します。

【記入にあたっての注意点】

① 提案者の業務管理責任者

提案者ごとに業務管理責任者を1名選任してください。

② 研究開発経歴（現職含む）：

（ア）「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

③ 受賞歴、当該事業に関する最近5年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

（イ）当該事業に関連する研究成果を記載してください。

（ウ）研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

※ 「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくともこれらのうち1つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。